

# ゼロカーボンシティって何？

「ゼロカーボンシティ」とは、2050年までに  
二酸化炭素の排出実質ゼロを目指す自治体のことです。

長崎市は、令和3年3月17日に「ゼロカーボンシティ長崎」を宣言しました！  
わたしたちが暮らす地球は今、地球温暖化とそれに伴う気候変動の影響により最大の危機に直面しています。  
地球温暖化を防止し、こうした状況を打開するためには、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにする必要があるとされており、長崎市も、「ゼロカーボンシティ長崎」を宣言しました。  
「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、市民、事業者、行政が一丸となって更に実効性のある取組みを加速させます。

みんなでめざそう！  
ゼロカーボンシティ長崎

～未来へON～

みんな知ってる？  
“ゼロカーボン”

わたしたちの暮らしからは、石油や石炭等燃やして電気を作ったり、自動車を動かしたりすると、地球の気温を上昇させる温室効果ガスが空気中にどんどん排出され、地球温暖化の大きな原因になっています。わたしたちが住む長崎市でも、暑い日の増加や大型台風の上陸など、地球温暖化の影響をうかがわせる気候の変化が見られています。

また、今夏の西日本を中心とした長期的な記録的豪雨は記憶に新しく、2020年8月に静岡県で観測史上最高の41.1℃が記録される等、極端現象は身近に迫っています。

これを防ぐためには、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることが必要とされており、地球温暖化の影響を可能な限り抑えるため、ゼロカーボンシティの実現がとても重要です。

みなさんも、できることから取り組んで、「ゼロカーボンシティ長崎」をめざしましょう！



「ゼロカーボン」とは、温室効果ガスの「排出量」から、森林などによる「吸収量」を差し引いて、実質的な排出量をゼロとすることを意味します。

※「ゼロカーボン」：「カーボン (=炭素)」を「実質ゼロ」にすること。

## わたしたちに何ができる？

毎日の暮らしのなかで、「ゼロカーボン」をめざすため、  
できることからON (スタート) しよう！

<部 屋> 寝るときはテレビなど使っていない電気製品の主電源を切るか、コンセントからプラグを抜こう。

<台 所> 冷蔵庫は、あまり食品などをためこまず、扉を開けている時間を短くしよう。

<風 呂> お風呂の残り湯は、洗濯や水やりに利用しよう。

<買い物> お気に入りのバックを持って買い物に行き、レジ袋は断ろう。

長崎の旬の食材を買おう、食べよう (地産地消)。

< 車 > 外出するときは徒歩や自転車、公共交通機関を利用しよう。



サステナプラザながさき  
イメージキャラクター  
「サステなっちゃん」

ここで紹介しているのは、ほんの一部。  
みんなで生活のどこかで“ゼロカーボン”のため何ができるか考えてみよう。

気象庁による気象予測情報では、これまで以上の対策が取られなかった場合、21世紀末までに約4度上昇し、今後、自然災害等の頻発化・激甚化などが予測されるんだって！(☹)